

(別紙4(2))

事業所名: 医療法人 真友会 グループホームことひら

作成日: 令和 3 年 11 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防署との話し合いの場で、施設は高台に位置しているため、水害による災害は考えにくいとの意見があり、これまでは、火災避難訓練に徹していた。土砂災害による訓練については予定していたものの実行できなかったため、今後は、台風により停電が発生、そして土砂崩れが起きた等のミックスした避難訓練を年間の計画にも組み込みたい。	台風により停電が発生し、同時に土砂崩れが発生した場合の避難訓練方法について検討し、訓練を実施する。	1.防災委員会を中心に、施設長、管理者も参加し、今後の避難訓練の計画を作成する(年間)。 2.地域への連絡網の一覧を作成する。 3.避難時の家族や関係機関への連絡方法や役割を検討する。	12ヶ月
2	35	同上	速やかに必要な情報を持ち出す方法を検討し、準備する。	1.持ち出しに必要な情報を防災委員、施設長、管理者で検討する。 2.すべての情報(入居者様の緊急連絡先、個人処方せん、病歴)が入った避難時持ち出しファイルを1冊作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。